

コ スプレ ィン ル AM



DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止



地靈殿の姉妹やペットを
自由に抱きながら
幸せに暮らす人間のお話

鼻を擦ぐる
珈琲の香り――

AM 6:45

深い微睡みから
覚醒へと導かれる

おはよう
ございます

朝一に会うのは
無償の愛を
捧げてくれる
最愛の存在

よく
眠れましたか？

……
それはよかった

答えるまでもなく
彼女は
人の心を読み

一人で納得し
微笑みかけてくる

カップを一つ
受け取ると
香りが鼻を抜けて
頭が段々と湧き渡る

実に爽やかな
朝であった

もし？
さとりさんや？
何をしたらっしやる
のでしょうか？

いえ……

珈琲にミルクを
入れるのを
忘れてまして

ちよつと
因果関係が
わかりかねます

彼女が私の股座を
弄り回そうとして
いなければの話だが

まあ
なんと
言いますか

「ちよつと」も
朝は大変でしょう？

せっかくなので
恋人らしく
処理してあげようと
思いました♡

ああちなみに
私の手には
あなたのモノと

熱々の珈琲が
握られている事を
お忘れなく

ご無体な

彼女の
白く細い指が
愚息を這う

小さく
可愛らしい舌で
丹念に舐め取られ

朝の冷たい外気と
熱い吐息が溶け合い

唾液で濡れた部分が
その空気を敏感に
感じ取って
心地よい快感となる

そのまま愚息が
さとの舌と口で
弄ばれていく



単に朝だから
血が巡っているのか

それとも小さい子に
朝立ちを
処理させている
興奮しているのか



どちらにせよ
いつもより
早めの射精を
余儀なくさせる

真っ白な欲望を
クチュクチュと
楽しそうに
口内で弄んだ彼女は



しばらくの後
自分のカップにへと
精液を吐き出した



精液入りの
コーヒーを
ぐるぐるとかき混ぜ



何事も
なかつたかのように
爽やかな
朝の続きを嗜む



……あなたも
いかがですか？

……あら
それは残念

心を読まずとも
分かってる問いを
投げかけられる

恋人の異常な偏食に
少し呆れながら
身支度を整える



意外にも自由気ままな地霊殿の生活が見え始めていく

朝食も摂り終わり各自今から起きてきたりお勤めに向かったりと

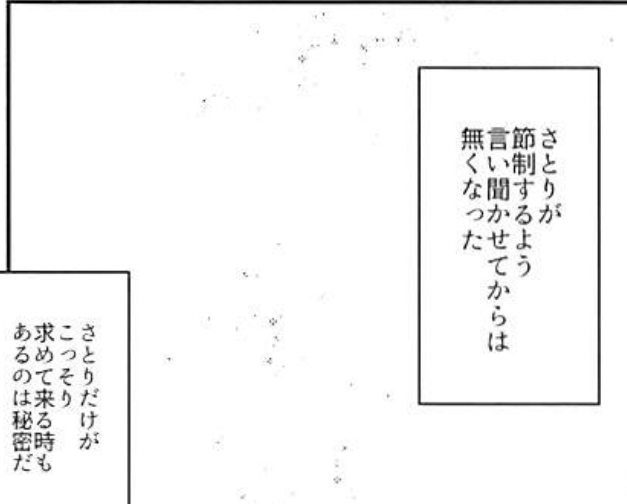
AM 7:48



朝の口付けだけは欠かさずに応えてやるので



しかし彼女たちは皆揃って



さとりが節制するよう無くなつたから

さとりだけがこっそり求めて来る時もあるのは秘密だ



以前は朝から身体を重ねることも少なくなかったが



地霊殿での
お仕事が始まる

主に彼女の側で
事務仕事の
簡単な手伝いをするのが
おおよそ毎日の業務だ

AM 9:21



この地霊殿で
自分と彼女ぐらししか
いないのも事実であり

だが実際のところ
事務仕事ができる
ような人材が



身寄りもない外の人間が
妖怪の元で働くとなると
この程度が
精一杯なのである



やっている事は
外の世界と
あまり変わらなくとも
自分が貴重な
戦力だと
自覚できるのは

負い目を
感じる事もなく
それなりに
幸福であったし



恋仲となった
キツカケである
手伝いを申し出た時

泣いて喜ばれる
ほどだったのは
今でも覚えてい



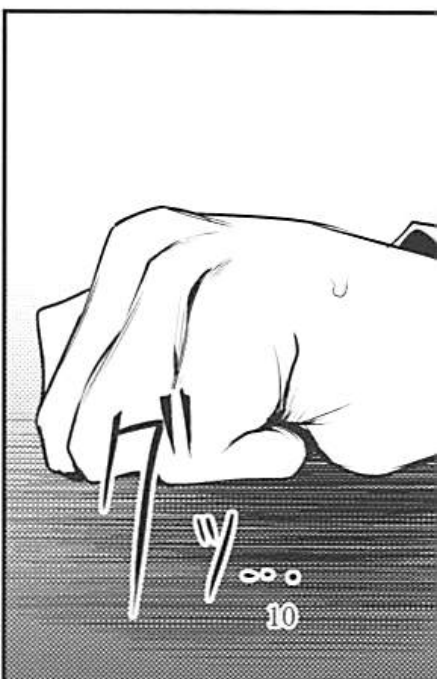
仕事の間でも
恋人と二人きり
という環境は



彼女にとって
願ったり叶ったり
なのだろう



ただ



二人つきりなのは
彼女の範疇での
話なのだが

最初から居たのに
気づかなかった
訳は無く

無意識下に股座へと
潜り込んだこいしに
愚息をしゃぶられる



苦しいだろうに喉奥まで使つてずっぼりと愚息を吐えてくる

根本まで飲み込まれた愚息からこいしの食道へと精液が送りこまれる

小さい舌がねつとりと絡みつき絶頂を促し



流石に限界だったのか
口内で受け止めきれず

愚息から
口を離した
こいしに欲望が
飛び散らかる



一日が始まって
たった数時間で
可愛い姉妹を両方共
汚しあげてしまった



こいしは丁寧に
顔にかかった
精液をすくい取り

愛おしそうに
味わう様子を
見せつけてくる





そう言うと
彼女は席を立ち



……
大丈夫そうでは
ありませんね

少し休憩を
いれましょうか



こちらの机へと
身体を
乗り出して



よいしょ……



……
……
どうぞ

お好きな
ように

どうぞと
言われましても

こいしも
いつまでも
そこに居ないで
出て来なさい

……そもそも
隠し事なんて
分かりきってる
ことでしょう

ほら……

AM 9:49

遠慮しないで
構いませんよ



さとのり
折れそうなほど
細い腰を鷺掴みにし

幼い秘裂を
こじ開けるように
挿入する




何度か抽送を
繰り返した後
一旦引き抜き

今度は
狙いの秘裂に
狙いを定める




机に押し潰すような
格好で最奥まで
突いてやると

見る見るうちに
快楽へと
飲み込まれて
いくのが分かる



姉と妹の膣内の
感觸の違いを
味わいながら

欲望のまま
互いの秘裂へ
交互に挿入する



突く度に
ぶらりぶらりと動く
浮いた足は
まるで人形のように

姉妹を
性処理道具のように
扱っている
感じがして興奮する



好き勝手に腰を打ち付けた後二人の膣内へたっぷり注ぎ込んだ

二人は子宮まで精液で満たされた事に快びの嬌声を漏らしていた



AM 10:31

行為を終えた後二人にお掃除してもらう

顔と同程度の大きさもある息にこびりついた精液を姉妹で取り合うかのように舌を這わせてくる

二人の頭を優しく撫でながら背徳的な光景と快楽を十分に堪能した

報告と
連絡ついでに
お焼の元へ



放っておけば
ずっと解放して
くれなさそうなので

仕事を理由に
なんとか
二人から抜け出す

AM 11:06

まあお茶でも
淹れるから
ゆつくり
していったよ



ドサッ

朝からの営みで
身体が結構
重かったの
お言葉に
甘えさせてもらう

ソファに
深く腰を降ろし
息をつく



おや、お兄さん
お疲れ様！

報告書と
連絡要項
届けにきたよ

うしろに
置いて！



お隣がそのまま
流れるように
膝へと
乗り上げてくる

頬を擦り付けて
しばらくの間は
動かないぞと
間接的に宣言された



一言何か
言おうとすると

そのまま
口を塞がれ
なし崩しに
押し倒された

さつきまで
抱いていた姉妹には
存在しない

膨やかな双房が
ふによんと
押し付けられ
つい興奮してしま

んふ…♡
正直な反応だね

あたいの身体で
感じてくれて
嬉しいな…♡



手は
ふくよかな胸に
導かれ

キスも
より一層
激しいものになる



このまま
抱いてしまおうと
姿勢を
動かそうとした時――

あ
!!!



お憐
ダメだよー!!

さとり様から勝手に
えっちしちゃダメって
言われてるのにー!!



お空う……

モロが悪い

ちゃんとお仕事しないとダメだよー

またさとり様に怒られちゃうよ？

あいやいやサボってるわけじゃあないさ

お兄さんが職場の立場利用して身体を要求してきたから仕方なく応えてるだけだよ

息をするかのように評価を落とされた

というかお隣さんやそれだと結構な最低野郎なんです

姉妹両方お手つきにしている時点で何言われても文句言えないよお兄さんは

そうだお空も混ざりなよ

お兄さんもその方が嬉しいってさ業務上の命令だから大丈夫大丈夫

少しお隣に物申したかったが

ま、えっちな匂いさせながら人の仕事場来る方が悪いってことで

ごもつともだった

うん！それなら混ざるー！

後ろからお燐を抱え上げ
待ち構えていた
愚息で貰く

匂いに当てられて
いたからか
秘所は濡れており
十分に濡れており

身体をビクンと
跳ねさせつつも
最奥まで柔らかく
迎えて入れてくれた

時折漏れる
蕩けた鳴き声を
楽しみながら

身体を
隅々まで愛撫し
膣内を犯していく



はーい
お兄さん♡

おっぱいだよー♡

服を肌蹴させ
無邪気に
乱入してきたお空が
豊かな膨らみを
目の前につきつけてくる



たわわな実りを
口いっぱい頬張り
乳首を舐りに
夢中でしゃぶりあげる

キキキッ

くらくらするほどの
甘い香りと味が
頭一杯を支配して
蕩けるように心地よい



彼女たちの
献身的なご奉仕に
五感も愚息も快楽に包まれ

射精に導かれるまで
そう時間は
かからなかった

各々が絶頂を迎え
身体をびくびくと
可愛らしく撥ねさせる

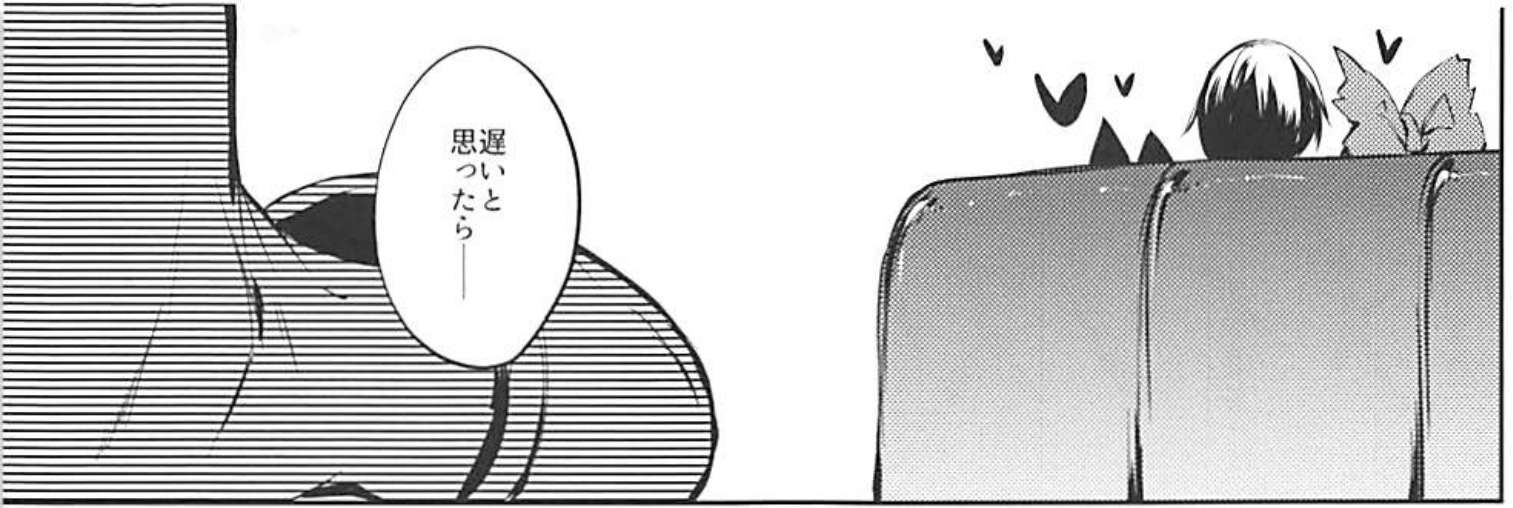


あん…♡

次い…
私にもしてえ…♡

あたいの身体
良かったかい…?

抱かれるのを
ねだってくる
二人を両脇に抱え
楽しんでいと



遅いと思ったら



お仕事中に随分と楽しんでるようですね

……ところでお話があるのですが

げ

あ

PM 12:00

……お空を抱いた後でもいいですか？

構いませんよ

ではお隣その間に貴女とのお話を済ませましょうか

……にゃーん

この後お空を抱いて二回射精した後お昼ご飯は抜きになった。午後の業務が憂鬱である。

続

コメイジスケジュール AM

2017年 12月29日 初版発行
コミックマーケット93

発行・制作

みどりねし

みどり

<http://www.pixiv.net/member.php?id=76139>

midori0014@gmail.com

印刷

栄光印刷

謝辞

ZUN(上海アリス幻楽団)

みどりねし